

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)
下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 岩手県奥州市国保衣川歯科診療所
佐々木 勝忠 先生
2. 演題 NST 医科歯科連携の取組み
～経験した ALS 症例等から舌機能を考える～
3. 日時 平成30年6月12日(火)16:30～18:30
4. 場所 歯学部第1講義室(7号館1階)
5. 抄録

筋委縮性側索硬化症(ALS)は、上位運動ニューロンと下位運動ニューロンが選択的にかつ進行性に変性・消失していく原因不明の疾患で、発症様式は上肢型と球型(構音障害・嚥下障害が主体)、下肢型などに分類される。初発部位は四肢が55%、延髄(球型)が44%という報告があり、口腔機能低下が初発となることも多い。経験した構音障害・嚥下障害を初発とする ALS 症例等を紹介し、口腔機能で重要な舌機能について考えてみたい。

連絡先：川口 陽子 (健康推進歯学分野 内線5475)